

以森伝心

理事長 柏原康夫筆

23

公益社団法人 京都モデルフォレスト協会情報誌「以森伝心」第23号 2013年8月

京都の森を守り育てる運動に参加しませんか



琵琶湖疏水インクラインにて

カツラ（桂）

水の恋しい季節。その水と縁のある木がカツラである。平安京の水源として崇められた貴船神社にカツラの巨木が立つ。琵琶湖疏水インクラインかたわらのカツラも水とかかわりが深いといえよう。花には花弁も萼もなく目立たないが、青葉は葵祭でフタバアオイとともに参列者の冠を飾る。枯葉になると独特の香りがして地方によりオコー（お香）ノキ、ショウユ（醤油）ノキなどとよぶ。時に、キャラメルみたいという子どもがいるが、芳香成分マルトールはまさにキャラメルの匂いである。

材は軽く柔らかで加工しやすく、仏具、家具、楽器などに広く用いられる。かつてよく使われた裁縫板、張板などは大きな板が取れるカツラならではのものである。また、碁盤、将棋盤の材となるなど結構身近にカツラがある。

京都森林インストラクター会 小島正澄（文・写真とも）



イベント参加者募集&助成金情報

森林づくり関連イベント等 参加者募集

参加者を募集している森林づくりイベント等をご紹介します。内容が変更になることがありますので、参加を希望される場合は、必ず主催団体にご確認ください。

9月14日(土)
木津川市

放置竹林を整備しよう

10月からのイベントに向けて、倒れた竹を整理したり、竹で階段をつくります。お昼にはピザを焼き、参加者の皆さんに振る舞います。竹の欲しい方は、好きなだけお持ち帰り頂けます。

- 活動場所：木津川市内
- 活動内容：放置竹林の整備
- 集合時間・場所：9時30分に木津川市加茂支所前集合(JR加茂駅下車・西口より徒歩3分)
- 参加費：無料
- 申込・連絡先：9月12日(木)までに下記までお申し込み下さい。

NPO法人・加茂女(かもめ)

TEL：0774-76-4144 (留守電吹き込みOK)

随時
長岡京市

放置竹林の整備ボランティア

10月12日開催のイベント「長岡京竹あそび」に向けて竹筒切り出し作業のボランティアを募集します。会場に飾る3000本の竹筒以外に、オリジナルの竹筒を自由に作り、会場に飾ることができます。ボランティアは年間通して募集中!

- 日時・場所：実施団体により異なる。曜日は9月中の作業日。
 - ・長岡京市環境の都づくり会議=金ヶ原竹林他、月曜
 - ・おとなりさん互助会・野山竹炭ランド=井ノ内竹林他、月曜・木曜
 - ・NPO法人竹の学校=光風台竹林他、土曜
- 内容：放置竹林の整備
- 参加費：無料
- 主催：長岡京竹あそび連絡協議会
- 申込・連絡先：メールまたは電話・FAXで事前に下記までご連絡ください。

長岡京竹あそび連絡協議会事務局

TEL・FAX：075-925-7202

E-mail：takeasobi@hotmail.co.jp

9月22日(日)
京都府立植物園

園長・副園長と歩こう「園内ガイド」

四季折々の草木について、「長澤園長」もしくは「西原副園長」が園内をガイドします。

- 場所：京都府立植物園
- 内容：園内の植物についての案内
- 集合時間・場所：13時に植物園会館前
- 定員：先着30名
- 問合先：京都府立植物園(京都市左京区下鴨半木町)
TEL：075-701-0141

10月6日(日)
亀岡市

SaveJapanプロジェクト「亀岡まるごと博物館 ～希少種がすむ市民の森 長尾山 探検」

長尾山市民の森は、地元のみなさんが手入れをしている里山です。ネイチャーガイドによる解説や自然の宝もの探しゲーム、間伐材を使った工作などを通じて、秋の一日を里山で満喫します。

- 開催場所：長尾山市民の森(亀岡市篠町)
- 内容：ネイチャーガイドによる自然観察会、ネイチャーゲームや木工等
- 時間：10時～15時30分
- 集合時間・場所：10時にJR嵯峨野山陰線 馬堀駅
- 募集人数：親子15組(先着順)
- 参加費：無料
- 主催：NPO法人亀岡人と自然のネットワーク、NPO法人きょうとNPOセンターほか
- 申込・連絡先：メールかFAXで下記までご連絡ください。
きょうとNPOセンター
TEL：075-744-0944 FAX：075-744-0945
E-mail：office@npo-net.or.jp
詳細は、<http://www.npo-net.or.jp/> からお知らせ欄参照。

助成金情報

森林づくり活動や、団体運営に役立つ助成金情報をご紹介します。申請される場合は、必ず事前に募集团体にご確認ください。

9/10
(火)
まで

(公財)イオン環境財団 2013年度助成先公募

「生物多様性の保全と持続可能な利用のために」をテーマに助成を行います。

- 活動分野
A. 植樹、B. 森林整備、C. 砂漠化防止、D. 里地・里山・里海の保全、E. 湖沼・河川の浄化、F. 野生生物の保護、G. 絶滅危惧生物の保護
- 助成対象：開発途上国および日本国内で上記の活動分野に該当する事業にて、フィールドワークを伴う活動を行っている団体
- 対象期間：2014年4月1日～2015年3月31日
- 助成金額：総額1億円
- 申請書類、申請方法：http://www.aeon.info/ef/activity/ngo/josei_koubo.html からダウンロード
※対象分野の有識者1名(申請団体の構成員及び利害関係者は不可)の推薦が必要です。
- 締切：郵送にて9月10日(火)まで(必着)
- 連絡先：(公財)イオン環境財団 阿部・能村(ノムラ)
〒261-8515 千葉県美浜区中瀬1丁目5番地1
TEL：043-212-6022 (平日10時～18時) FAX：043-212-6815
E-mail：ef@aeon.info

10/31
(木)
まで

2013花王・みんなの森づくり活動助成

身近な緑をまもり育てる活動、緑の中での体験を通じ環境について考え学ぶ活動に対し、3年間継続して活動を支援します。

- 対象団体：
 - ・国内で身近な緑を守り、育てる活動(森づくり活動)に取り組んでいる団体
 - ・国内で子どもたちに緑との触れ合いの機会を創出する活動(環境教育活動)に取り組んでいる団体
- 助成期間：2014年3月～2017年3月までの3年間
- 支援内容：森づくり活動と環境教育活動に要する費用を対象として、1・2年目各50万円/年、3年目25万円を上限に助成
- 締切：10月31日(当日消印有効)
- 連絡先：(公財)都市緑化機構 花王・みんなの森づくり活動助成事務局 小松・土井
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階
TEL：03-5216-7191 FAX：03-5216-7195
Email：midori.info@urbangreen.or.jp

森林への理解や自然を大切にすることを育む

「京都緑のこどもサミット」を開催

7月30日(火)に府民ホール アルティにて、「京都緑のこどもサミット」(主催：京都府、当協会)を開催しました。約300名にご参加いただき、緑の少年団による活動発表、講演、サイエンスショーを行いました。

緑の少年団による活動発表 「緑と森の活動報告」

府内5つの緑の少年団(京都府弓削緑の少年団、ボーイスカウト田辺第1団緑の少年団、鶴ヶ岡緑の少年団、ガールスカウト福知山緑の少年団、上宮津緑の少年団)の皆さんに、森づくり活動や自然観察など普段の活動を発表してもらいました。



活動報告

【講演】

「森と空とのつながり ～最近わかってきた森林のはたらき～」

森林総合研究所主任研究員の深山貴文氏にご講演いただきました。



クイズを出しながらの講演

【講演から一部抜粋】

森の香りには地球を冷却する効果のある可能性があることが分かってきた。森の冷却効果として①粒をつくる効果—森がつくった粒が、鏡のように太陽の光を跳ね返してくれる。②雲をつくる効果—森のできる粒は、長い時間浮かんで雲をつくる。③フロンガスの分解—森は香りを出すことで、地球の空気をきれいにしてきている。特に熱帯の原始林が香りを多く出し、フロンガスなどを多く酸化してくれている。

日本では熱帯林を伐採した木材を多く使っているが、日本には人工的に植林した木があるので、これらの日本の木を使い、育てていって欲しい。

不思議な科学の教室「緑と科学のサイエンスショー」

米村でんじろうプロダクション チャーリー西村氏による、木に関連したサイエンスショーが行われました。子どもたちは、面白いパフォーマンスに終始夢中でした。

【実演された実験の一例(木炭電池)】

濃い食塩水を作る。備長炭の片方に紙を巻き付け、食塩水をかける。紙の上にアルミ箔を巻く。備長炭が出ている側をモーターのプラスに、アルミ箔で包まれている側をマイナスに繋ぐと、モーターが回る。炭には、電池になる炭(白炭^{しろずみ})とならない炭(黒炭^{くろずみ})とがある。

木炭電池の実験



今回の催しが、子どもたちがより一層森林に関心を持つきっかけとなり、様々な世代によるモデルフォレスト運動の推進に繋がっていくことを期待しています。

※同日の午前中に、府民ホール アルティにて、平成25年度緑化運動ポスター・愛鳥週間ポスターコンクールの入賞者表彰式を開催しました。次号で報告させていただきます。

もり 森林に生かされる人々

チーム以森伝心は、京都モデルフォレスト運動を推進し、京都の森林づくり活動を広げていくためのサポータークラブです。今号では、森林からの恩恵を受け、森林とともに生活している人々を訪れ、その生業や暮らしを紹介する「森林に生かされる人々」をお届けします。

木の中に仏の姿を見る

とみた じゅうん
富田 珠雲さん（京仏師）

「仏像をお寺に納める時、どうか千年お守りして、千年後に国宝にして下さいとお願いします。」と語られる富田さん。16歳の夏休み、お父様から小さな木片と彫刻刀を与えられ、お地蔵さんを彫ることを教わった時、うまくは彫れなかったが、なぜか「できる」と感じた。それから仏師の道を歩み始め、自分が彫っているものを知りたくて大谷大学で仏教を学ぶ。9年前に仏像を造る過程を多くの人に見てほしいと、五条坂にガラス張りのオープン工房を開く。現在、京仏師として精力的に仏像制作に取り組むとともに、東日本大震災被災地へのボランティア活動も継続している。

「自分が仏像を造ってやろうと思うといけない。依頼者の願いや想いを自分のものとして、木に向かってしていると仏さんの眼が見えてくる。いらないところを少しずつ削っていくと、木の中から仏さんの姿形が現れてくる。」と制作中の大きな六地藏像を指さしながら仏像造りの真髓を話す。

仏像が生まれてくるという木について、「これはという原木を見た時、それぞれ独特の雰囲気を感じる。やさしい木を見ると穏やかな仏さんを思い、個性の強い木からはいかつい仏さんを感じる。」と言う。また、「原木を買うと、不思議とその木にふさわしい仕事の依頼がくる。」次々と湧き出るように語られる仏と木に対する話に、理屈抜きに引き込まれる。

原木は主に木曾から取り寄せているが、

過去の乱伐の結果、太い良い木が少なくなっている。寺社の建て替え・修繕ニーズもあり、原木の価格が高騰している中だが、これはという原木はとにかく確保しているそうである。

京都の木はどうかという問いかけに、「京都にも、まだまだいい木が残っていると思う。先日、床柱になりそうな南天の木を持ってきて、これで何か造ってほしいとの依頼があった。貴重な南天の大木が、何の思慮もなく伐採されたことを残念に思った。探せば京都にも、何か特別な用途に使われる貴重な木があるだろう。木のことをよく学び、その木の特性に応じて大切に育て、活かしていくことが大事だと思う。」

富田さんはまさに、木に生かされている方でした。言葉に表すことのできない清々しい感動を頂き、工房を後にしました。（宮本博司）



おらかな笑顔が素敵な富田さん。木でできた温かな雰囲気のオープン工房にて。



弟の睦海さんやボランティアと共に制作している、被災地に暮らす方々に送るお地蔵さん



富田工藝・オープン工房五條坂
京都市東山区五條橋東2丁目36-2
tel・fax / 075-541-0123

事務局からのお知らせ

活動報告

- 7月30日（火）
「京都緑のこどもサミット」、「緑化運動・愛鳥週間ポスターコンクール」表彰式を開催（京都御苑、府民ホール（アルティ））
- 8月6日（火）
北海道下川町と「モデルフォレスト・パートナーズ協定」を締結
- 8月9日（金）～8月12日（月）
緑化運動・愛鳥週間ポスターコンクール入賞作品展示（イオン洛南ショッピングセンター）

今後の予定

- 9月1日（日）～
10月31日（木）
緑の募金運動強化期間
京都の森林を豊かにし、まちなかの緑を増やすために、ご協力をよろしくお願いいたします。

発行：公益社団法人 京都モデルフォレスト協会

入会案内資料をご希望の方は、ご連絡ください。

〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入子丁風呂町 104-2 府庁西別館内

TEL & FAX 075-414-1270 E-mail kyomori@kyoto-modelforest.jp URL <http://www.kyoto-modelforest.jp>

2013年8月発行

デザイン：自然堂（じねんどう）株式会社